

JICA 筑波 2023 年度 募集要項



JICA 筑波施設訪問

国際協力出前講座

研修員の学校訪問



Photo: Masanari Sakayori

撮影場所: パラオ

活用方法

- ◎国際理解教育
- ◎総合的な学習の時間
- ◎キャリア教育
(国際協力の仕事とは)

対象

- ◎小・中・高・特別支援学校
- ◎大学などの教育機関
- ◎自治体、市民団体

※個人ではなく団体を対象として
おります。

お申込み・ご相談は

JICA 筑波
開発教育支援事業
担当者まで

事業の目的

JICAの国際協力事業の紹介を通じ、開発途上国の現状と課題、SDGs(持続可能な開発目標)や、日本と開発途上国との相互依存関係について関心や理解を深めていただきます。また異文化や多文化共生についても理解を深めていただくことを視野にいれ、グローバル人材の育成支援を目的に「国際理解教育／開発教育支援事業」を展開しています。

注:新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、実施に制約がある場合もございます。

Menu 1 JICA 筑波 施設訪問

JICA 筑波では、開発途上国を含む世界や国際協力への理解を深めていただけるよう、開発途上国の現状や地球が抱える問題などを、見て聞いてさわって体験できる展示と、途上国での活動体験談や開発教育教材を使った参加型体験ワークショップを用意しています。

主なプログラム内容 ご希望のテーマや内容に応じてプログラム内容を組み立てます！

- 施設見学 ●JICA と日本の国際協力について ●JICA 海外協力隊経験者による体験談
- エスニック料理ランチ(食事を通じた異文化理解)
- 研修員との交流(英語)

プログラム例: 120 分

- 10 分 プログラム説明/アイスブレーキング
- 30 分 JICA 事業や日本の国際協力について説明
- 50 分 JICA 海外協力隊体験談 または 'ワークショップ'
- 30 分 施設見学



主体的なワークショップ

Menu 2 国際協力出前講座

開発途上国の現状を知り、世界や国際協力への理解を深めるため、JICA 海外協力隊経験者や JICA 職員、JICA 長期研修員(留学生)などを講師として紹介しています。クラス単位から学校行事、学校の教科や総合学習の時間、キャリア教育や平和教育など様々な機会にご利用いただけます。

【紹介できる講師】

JICA 海外協力隊経験者

- ・現地での活動内容、参加したきっかけなど
- ・開発途上国での生活・文化・人々の様子／異文化紹介 等

JICA 職員

- ・開発途上国での生活・文化・人々の様子 等
- ・日本政府による開発途上国に対する国際協力(政府開発援助:ODA)の現状、JICA の取り組み 等
- ・世界の問題を考えるワークショップ 等

JICA 長期研修員(留学生)

・アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東などの文化紹介。

※交流は英語での実施となります。通訳はつきません。

Menu 3 研修員の学校訪問

JICA 筑波では、技術研修を目的にアジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東などの開発途上国から毎年約 800 人の研修員を受け入れ、農業や気候変動対策、防災などのさまざまな分野で研修を行っています。

児童・生徒のみなさんと研修員とが直接交流することで開発途上国や異文化に対する理解、国際協力について学ぶ機会を提供しています。また、研修員にとっても日本の社会や日本の学校教育に理解を深める機会となっています。研修グループごとでの実施となるため、参加研修員数はおおむね 5～10 名となります。希望講師数が少数(1～2 名)の場合は国際協力出前講座をご活用ください。

【各プログラムの概要】

	JICA 筑波 施設訪問	国際協力出前講座	研修員の学校訪問
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ODA/JICA 事業概要 ・JICA 海外協力隊体験談 ・JICA 筑波施設見学 ・ワークショップ ・エスニック料理ランチ ・研修員との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA 海外協力隊体験談 ・外国の生活・文化/異文化理解等 <p>※JICA 海外協力隊経験者や JICA 職員、JICA 長期研修員(留学生)を講師としてご紹介します。</p> <p>※講演内容は、講師によって異なります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の日本文化紹介 ・研修員の出身国及び文化紹介 ・ディスカッション等 <p>※交流プログラムですので、双方向のコミュニケーションが取れる内容を構成ください。</p> <p>※英語で実施</p>
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・無料 <p>※原則無料ですが、JICA 海外協力隊体験談については、職員対応が難しい場合は、外部講師に依頼することになり、出前講座同様、謝金・交通費が発生します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 + 交通費 <p>※謝金について、目安は一人当たり 1 時間 4,600 円(JICA 規定に基づく)です。学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。</p> <p>※講師謝金負担が困難な場合は、ご相談ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無料 <p>※JICA 研修員が研修カリキュラムの一環(日本文化理解)として学校を訪問します。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・定員:40 名程度 <p>※施設・設備の制約による。それ以上の人数で訪問希望の場合はご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修員との交流(昼休み時) <p>※研修員との交流については、研修員の各プログラム留意事項[JICA 筑波施設訪問]をご参照ください。</p>	<p>※通常、講師を選定するには、2 か月程度かかります。状況により、講師選定までお時間をいただく場合がございます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象:小学校高学年以上 
<p>※原則、土日祝祭日の実施は致しておりません。</p>			
締切	<p>実施日の 2 ヶ月前までにお申込みください。</p>	<p>2023 年 8 月 31 日(木)までにお申込みください。</p>	

各プログラム留意事項 **お申込み前に必ずご確認ください。**

【JICA 筑波 施設訪問】

1. 施設・設備の制約からプログラムの定員は 40 名程度となります。それ以上の人数で訪問希望の場合はご相談ください。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響により、JICA 研修員との交流は、ランチを食べながらではなく、昼食後の昼休み時間の交流(約 30 分間)になります。研修員との交流を希望する場合は、交流内容・当日の進行手順や、事前学習内容を「交流実施計画書」に記載し、申込書と一緒にご提出ください。
研修員の技術研修等の都合上、必ずアレンジできるとは限りませんのでご了承ください。実施計画書をもってお申込みいただいた場合も、実施可否回答はプログラム 2 週間前となることもあります。
3. 研修員との交流は**英語での実施となります**。通訳はつきませんので、事前学習・準備をお願いいたします。当日の交流プログラムの進行は依頼元でお願いいたします。
4. ランチ(お弁当)のお支払代金は実施 1 週間前の申込人数で確定させていただきます。参加人数減となった場合も確定金額をご負担いただくこととなりますので、ご注意ください。
5. JICA 筑波から送迎は行っておりません。**移動手段は各自でご用意ください**。

【国際協力出前講座(日本人講師)】

1. 講師決定後、講話内容の詳細打ち合わせは依頼元のご担当者様が講師と直接行ってください。
講座の目的やテーマ、使用できる機材の確認、児童・生徒の様子などについて十分に打合せを行ってください。謝金の受け渡しに印鑑が必要な場合、その旨講師の方へお伝えください。
2. 講話に必要な使用機材などはできる限り依頼元でご用意ください。
3. 学校のパソコンを使用できる場合、USB の使用可否やソフト(パワーポイント、ワード、エクセルなど)の有無、ソフトのバージョン(Windows 10 など)も併せてお知らせください。また、情報セキュリティ上学校パソコンを使用できない場合、その旨お知らせください。
4. 謝金・交通費を入金していただく場合、手数料は依頼元負担でお願いいたします。

【国際協力出前講座(JICA 研修員)】、【研修員の学校訪問】

1. 研修員の技術研修等の都合上、派遣できる日程や人数はご希望に添えない場合があります。
2. **JICA 筑波(つくば市)から訪問先の往復移動時間を含め、9:30~17:00 までの間で実施できる交流プログラムに限ります**。
3. プログラムの企画及び実施、司会進行は依頼元でご担当ください。初めて利用される学校は、交流内容について JICA 筑波にご相談ください。
4. JICA 研修員は通常、英語で研修を受講しており、交流も英語での実施となります。
5. 交流で通訳が必要な場合、英語教員や県や市の通訳ボランティア、語学のできる PTA 等の活用をお願いいたします。また、当日の司会進行、時間管理などは依頼元でお願いいたします。
6. 交流内容が児童・生徒による事前学習の成果発表にならないよう、ご注意ください。
研修員の母国の文化、あいさつを学ぶ等、児童・生徒が理解できるような形で双方が体験を通じて自然に理解し合えるようなプログラム構成をお願いいたします。
7. 研修員に歌や踊り、子どもの遊びを披露してほしいといった内容は文化の違いにより提供できない場合がありますので、ご了承ください。

お申込みについて

1) 申込方法

申込書を JICA 筑波ウェブサイトからダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてお送りください。送付先は、本実施要項に記載の「お問合せ・申込先」をご参照ください。

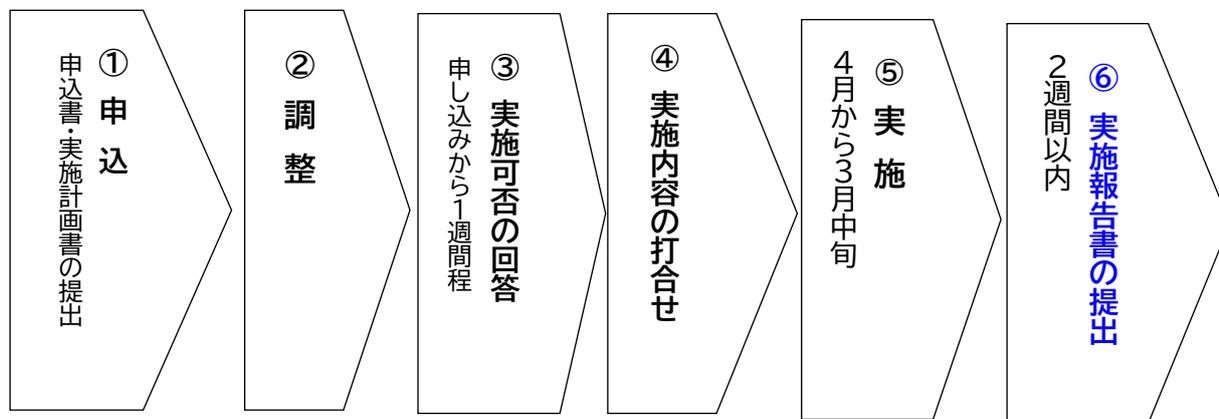
※JICA 研修員との交流希望の際は、「交流実施計画書」も合わせてお送りください。

2) 留意事項

・応募多数の場合は、開発教育、国際理解教育を実践している学校を優先いたします。

実施までの流れ

お申し込みの内容を踏まえ、実施の可否を検討し、結果をご連絡いたします。なお、調整の結果、ご要望に添えないこともあります。あらかじめご了承ください。



各プログラム実施後 2 週間以内に「実施報告書」のご提出をお願いいたします。

お問い合わせ・申込先

※プログラムによって問い合わせ先が異なります。

✓ 施設訪問、研修員の学校訪問、国際協力出前講座(JICA 長期研修員)

国際協力機構 筑波センター 連携推進課 宛

Tel:029-838-1144 Fax:029-838-1119 E-mail:jicatbic-ppt3@jica.go.jp

✓ 国際協力出前講座(日本人講師)

茨城県	JICA 茨城デスク:(公財)茨城県国際交流協会内 TEL:029-241-1611 FAX:029-241-7611 Email: jicadpd-desk-ibarakiken@jica.go.jp
栃木県	JICA 栃木デスク:(公財)栃木県国際交流協会内 TEL:028-621-0777 FAX:028-621-0951 Email: jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp

実施要項、申込書等、各書類のフォーマットは JICA 筑波 HP からダウンロードしていただくか、上記、JICA 筑波 連携推進課にお問い合わせください。FAX/メールでお送り致します。

JICA 筑波 開発教育

検索



JICA 筑波

〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-6

Tel: 029-838-1144

Fax: 029-838-1119

E-mail: jicatbic-ppt3@jica.go.jp

Website: <https://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html>

独立行政法人 国際協力機構 筑波センター